

「サステナブル」^{エス・ディー・ジーズ}「SDGs」を 知っていますか？



サステナブルとは、英語で「持続可能(ずっと続けていける)」という意味です。

SDGs (Sustainable Development Goals) は、
未来のために、自分だけではなく自然の生き物、世界中の人々が、
地球上で暮らしていけるようにするために、
2030年にむけて国連で採択された「持続可能な開発目標」です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



捨てられる運命にある「空箱」が、
みなさんをわくわくさせるアート作品に生まれ変わりました。
はるきさんの作品はまさに「サステナブル・アート」といえるでしょう。
未来のために自分たちにできることは何かを考えてみませんか？

参考文献:『お菓子の箱だけで作る空箱工作』『お菓子の箱だけで作るすくい空箱工作』(ともにワニブックス)
撮影:市瀬真以/はるきる

[編集・発行]そごう美術館 2022年5月

| ジュニアガイド |

SNSで人気



空箱職人 はるきる展

Miracle Package Art

2022年5月27日(金)~7月3日(日)

そごう美術館 [横浜駅東口 そごう横浜店6階]

郵便番号 220-8510 横浜市西区高島2-18-1 電話 045(465)5515(美術館直通)

<http://www.sogo-seibu.jp/common/museum/>

プリングلزの紳士たち

はるきるさんってどんな人？

空箱職人
はるきる
HARUKIRU

1997年生まれ。祖父母がスーパーマーケットを営んでいたことから、お店にあったチラシや空箱を使って、子どもの頃から戦隊ヒーローが使う剣や変身ベルトなどを作って遊んだり、NHK『つくってあそぼ』というTV番組が楽しみで「わくわくさん」が作るものをまねしたりと、**工作が大好き**な少年でした。

ペーパークラフトを本格的に学ぶために、神戸芸術工科大学アート・クラフト学科に進学。作品をTwitterで紹介したところ、たちまち大人気となり、現在は、プロのアーティスト「空箱職人」として活躍しています。



どうやって作っているの？

- 1 みんなが知っている商品の箱を選びます。
- 2 商品の名前や箱のデザイン、箱に書かれたキャッチフレーズから連想して作品のテーマを決めたら、脳内で設計してイメージを完成させます。
- 3 脳内完成イメージ図から展開図を逆算して、実際に手を動かしながら作品を完成させます。

つまり、**設計図は作らず、頭の中で想像して、**作品を作っているんです！



じゃがりこの風車小屋

作品を作るときに心がけている4つのポイント

ポイント1 箱のイメージを大切に

商品の名前、箱の持つイメージから、「月」をテーマに作りました。



ムーンライトの
時計塔

ポイント2 箱の文字を生かす

翼につけた「ソーダ」という文字がさわやかでクールなキャラクターの個性を引き立てています。



スタイリッシュな
ガリガリ君

商品名の箱のイメージを残しつつ、遊び心もプラスしています。

ポイント3 他の材料を使わない

箱本体や商品を含んでいる紙など、その箱に入っているものだけで作品を作ります。別の箱や紙など他の材料は使いません。



箱の中に入っている
紙も使います。

空箱工作にはハサミ、カッター、接着剤、テープを使っています。

ポイント4 奥行きを出す

窓に奥行きを出すために、絵を何枚も重ねて貼っています。



各色4箱、計16箱を
使った大作です。

シャルロットの街